



## お客様の声



シャンパーニュ地方ワイ  
ン生産同業委員会  
(シャンパーニュ委員会)



ROXANE DE VARINE-BOHAN  
(ロクサーナ・ド・バリーヌ・ボアン)

シャンパーニュ委員会 (Comité Champagne) として知られるシャンパーニュ地方ワイン生産同業委員会 (the Comité interprofessionnel du vin de Champagne) は1941年に、シャンパンの生産者と卸売業者の共通利益(相互補完関係)を管理するセミパブリックの団体として設立されました。

こちらの団体は約80年間、シャンパン業界全体のサポート並びにシャンパン原産地のオペレーションによって構成される遺産価値の向上を目的として、品質ポリシーを追及してきました。

CSCは、シャンパーニュ委員会で法律顧問を務めるロクサーナ・ド・バリーヌ・ボアン氏とネットワーク管理プロジェクトマネージャーであるマリー・クリスティン・ビリオン氏にCSCのDomainManager<sup>SM</sup>プラットフォーム、ドメインネームシステム (DNS) 含むブランドプロテクションサービス、そしてレジストリロックサービスを通じて、どのようにブランドやドメインを保護しているのか、お話を伺いました。

ロクサーナ氏は、全てのドメイン名ポートフォリオとそれに関連するセキュリティ対策、及びシャンパンの名称保護を担当しています。彼女はこれらのブランド保護業務を他の2人のステークホルダーと共に、世界の約70の専門の法律事務所に従事しています。シャンパーニュ委員会は、シャンパーニュオペレーションである無形遺産を構成するすべての要素のディフェンスとセキュリティポリシーを調査することが定期的に求められます。これには、直接または間接的に派生する可能性のあるすべてのものが含まれます。

## 貴委員会が直面している最大のオンライン脅威について教えていただけますか？

「シャンパーニュ委員会は、第二次世界大戦中にシャンパーニュ地方の素晴らしい遺産を保護するために設立されました。」ロクサー

ナ氏は続けて「その信頼性はシンプルで堅固なものから成り立っています。我々のオペレーションは、それらを結集した遺産なのです。弱体化、不正流用、偽造、および迷惑行為のリスクは常にあります。インターネットはこれら全ての脅威が存在する危険地帯なのです。シャンパーニュ委員会は、主な脅威としてDNSを悪用されることを警戒しています。」

## どのようにドメイン名を保護しますか？それはなぜ貴委員会にとって重要なことでしょうか？

「我々委員会の仕事は全て、”シャンパン” という名前の評判の維持に本質的にリンクしており、従いまして現在そして将来のシャンパンの価値につながっております。シャンパンを含むドメイン名を登録、また悪意があるサイトや詐欺サイトからドメイン名を取り返し回復し、保持することはシャンパンの評判を維持することになります。シャンパンの名称を含むドメイン名を留保すること自体が目的ではありませんが、ドメイン名の登録は先着順ですのでそれを行うことにより、我々の信頼性と評判を高めることが出来ます。我々の目指していることは、我々のウェブサイトchampagne.frの完璧なセキュリティです。」

## シャンパーニュ委員会がオンラインプレゼンスを管理するためのポリシーは何でしょうか？

「ドメイン名ポリシーと世界中のオペレーションの登録を保護しなくてはなりません。シャンパーニュ委員会のブドウ栽培及びワイン醸造部門によって調査が行われ、その後それぞれの調査結果をもとに保護及び促進をするための戦略を立てます。また、多くの国のすべての検索エンジンの結果にて一番先頭にくるように努めています。(SEO対策に努めております。)」



MARIE-CHRISTINE VIRION  
(マリー・クリスティン・ビリオン)

# シャンパーニュ委員会

## 現在、直面している知的財産権 (IP) に関する問題は何でしょうか？

「シャンパンは地理的表示 (Geographical Indication /GI) として登録されていますが、世界中で異なる方法で管理されています。インターネットの状況は商標の世界と多くの点で類似していますが、地理的表示の監視と保護はそれ以上に非常に困難な状況です。」

## 重要事項:

日常的な問題:

- ディフェンシブまたプロアクティブなアプローチにより、カンントリーコードトップレベルドメイン(ccTLD)とジェネリックトップレベルドメイン(gTLD)を回復する為の継続的な警戒と分析
- ドメイン名のサイバースクワッティング、タイポスクワッティングなどによるシャンパンオペレーションの評判低下
- プラットフォーム上での偽造と不正流用

今後の課題:

- ドメイン統一の為、新たなドメイン拡張子(新gTLD).CHAMPAGNEの将来的な申請を現在検討中統一ドメイン名紛争処理方針 (Name Dispute Resolution Policy) は地理的表示(GI) には適応されない

## CSCが提供しているリソースを管理と保護の為にどのように活用していますか？

マリー・クリスティン氏は以下のように答えてくれました。「シャンパーニュ委員会は技術的及び法律的な観点からみれば自律的ですが、私たちは細部までこだわりドメイン名のポートフォリオを構築し管理しています。そこでCSCスタッフのプロ意識と問題への迅速な対応がとても重要となってきます。CSCは直面する脅威への対策として、我々の無形遺産の為に様々なセキュリティシステムを構築してくれました。」

またマリー・クリスティン氏から加えて「我々のリクエストを一元化管理できるクライアントサービスパートナーへ簡単にアクセスできる点も気に入っています。モディフィケーションオーダーに対しても迅速なレスポンスが得られ、経過の追跡も容易に可能です。ドメイン名を購入し登録する際にも、CSCは私たちの戦略的な考えも踏まえてくれるので

素晴らしいサポートを受けることが出来ております。そしてCSCのセキュリティサービスが、実際に他社レジストラと違いを生んでおります。例として一つ挙げると、我々はCSC MultiLockサービスを利用していますが、アカウントにアクセスする際には二重認証が必要となります。」とお答えいただきました。

## CSCおよびCSCの専任スタッフと一緒に仕事をされていかがですか？

「我々は入念なリサーチの結果、CSCを選定致しました。CSCは素晴らしいノウハウをもっており、顧客と直接連絡を取り合うことを大切にしています。これは我々とCSCの関係に付加価値を与え、そしてなにより信頼関係に繋がっております。インターネットの世界は不透明で複雑です。正確で、知識があり、常に脅威に対して警戒をしている専門家だけが最悪のリスクを避けることができ、我々の問題にも答えることが出来ます。それがCSCなのです。」 とマリー・クリスティン氏にお答えいただきました。

## 他の企業にCSCをお勧め致しますか？

「もちろん自信をもって他社にもCSCをお勧め致します。」



CSCは企業向けドメイン名、DNS、デジタル証明書管理、デジタルブランド保護・ネット詐欺防止サービスのプロバイダとして、フォーブス誌「グローバル 2000」や「世界で最も価値の高いブランド 100 社」®に名を連ねる多くの企業に選ばれています。世界的企業の数々がセキュリティ体制に多額の投資をしている中、CSCはセキュリティの盲点を突き止め、ドメイン名、DNS、デジタル証明書を安全に維持するお手伝いをしています。CSCは独自のセキュリティソリューションを活用することで、企業をオンライン資産を狙う脅威から保護し、大規模な収益の損失、ブランドの評判失墜、EU 一般データ保護規則 (GDPR) などの規制による多額の罰金を防ぎます。当社は、オンラインブランド監視と保護活動を組み合わせたオンラインブランド保護、そしてフィッシング対策として詐欺からの保護サービスと共に、デジタル資産保護に向けた総合的なアプローチを採用して、保護サービスを展開しています。

+81 (0)3 6721 8346

[cscdbs.com/jp](https://cscdbs.com/jp)

Copyright ©2022 Corporation Service Company. 無断複製禁止。

CSC はサービスを提供する会社であり、法的または財務的なアドバイスの提供はいたしません。本報告書に記載されている情報は、参考として提供することのみを目的としています。本情報を利用するには、事前に法律および金融アドバイザーへご相談ください。